

前期終業式・後期始業式

始業式・終業式は子どもたちにとって大きな節目です。前期の振り返りをし、お互いの成長を認め合い、励まし合い、そして、後期の生活に対する心構えをもつ大切な日です。

前期終業式では、1年生松井彩果さん、5年生佐野綾香さんが、後期始業式では、2年生依田大輝さん、4年生西山瑞希さんが、全校児童を代表して前期の振り返りや、後期のめあてを発表しました。

【10/5 終業式】前期がんばったこと（原稿抜粋）

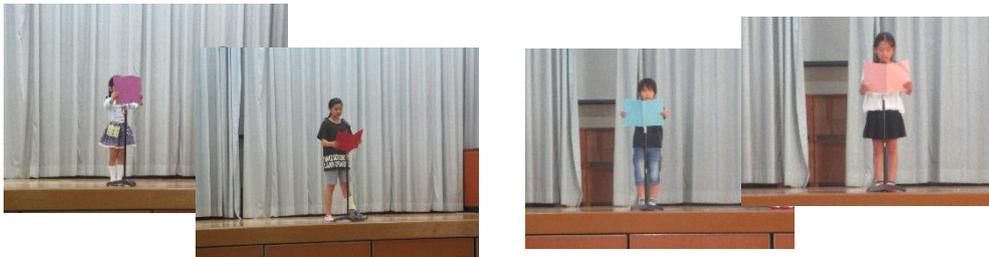
せいりせいとんをがんばりました。まいにち、つくえやロッカーをきれいにしました。つくえのなかやろっかあをきれいにすると、こころがすっきりしていきもちになりました。これからもつづけたいです。
(1年 まつい あやか)

前期がんばったことは、お米作りです。特にがんばったのが水やりや雑草ぬきなどの日課の仕事です。いつもわすれることなく水やりなどをしていました。収かくしたお米をみんなで「おいしいね。」と言いながら食べたいです。
(5年 佐野 綾香)

【10/9 始業式】後期がんばりたいこと（原稿抜粋）

後きに楽しみなことが二つあります。一つ目はうんどう会のときょうそうです。うでをうごかし、しっかり前を見てはしります。二つ目は音がくしゅう会です。うたをうたったり、えんそうしたりするのが大すきだからです。口を大きくあけてきれいな声でうたいます。
(2年 よ田 大き)

後期がんばることは三つあります。一つ目は話の聞き方です。相手の目を見てしっかり聞けるようにしたいです。二つ目は苦手なことでもチャレンジすることです。三つ目は自分で考えて行動することです。言われる前に行動できるようにしたいです。
(4年 西山 瑞希)



標語コンクール

毎年、「暮らしやすいまちづくり」の標語コンクールに参加しています。「暮らしやすいまちづくり」とは、家族や学校の友達、地域の方々と温かい人間関係を築き上げるために、お互いに気持ちよいまちをつくり、明るい地域にしていこうという運動です。

今年度は、4年松本彩さんの作品が優秀賞に選ばれました。校内の掲示板に標語を表示していますので、ご覧ください。標語に書かれているように、家族や友達、地域の方々とたくさんあいさつをして明るい地域にしていきたいです。

あいさつで
みんなの心と

ハイタッチ (4年 松本 彩)

